

台風等による高潮等のリスク

高潮は、主に台風や発達した低気圧の接近に伴い、吸い上げ効果や吹き寄せ効果などにより、海面が異常に上昇する現象で、**短時間のうちに急激に潮位が上昇**することがあります。

高潮で潮位が高くなって海岸堤防の高さを超えると、一気に海水がなだれ込んできます。また、潮位が海岸堤防の高さを超えていなくても、高潮と重なった**高波が海岸堤防を越えて浸入**してくることがあります。また、台風や発達した低気圧の接近時には、**潮位の上昇よりも先に暴風が吹き始めます**。

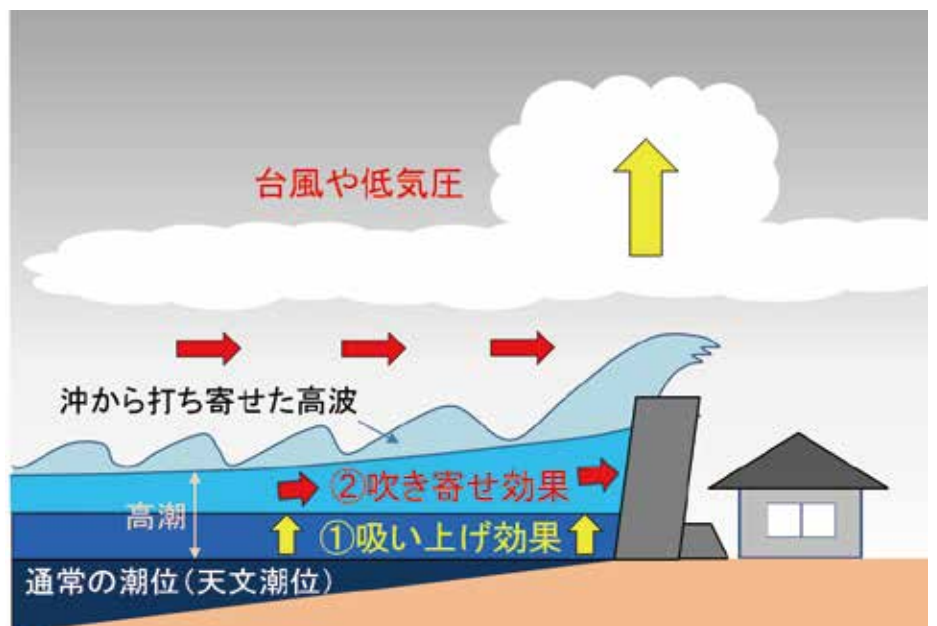
1. 気圧低下による吸い上げ効果

台風や低気圧の中心付近では気圧が低いため、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

2. 風による吹き寄せ効果

台風等による強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ、海面が上昇します。

※波浪効果…高波が沿岸に到達してくずれることで、海面がさらに上昇します。



高潮からの避難行動が必要となるエリア

高潮から身を守るためには、その場所が**高潮のリスクがある場所かどうかを知っておくことが重要**です。「自らの命は自らが守る」という意識を持っていただき、本防災マップで**潮位(標高)に応じた浸水想定区域**など危険な箇所をあらかじめ調べておいてください。そして、台風等の接近時に、警報・注意報等で伝えられる**予想最高潮位**を用いて、どのくらいの高さの高潮が予想されているかを自らご確認ください。

実際に高潮が発生すると、

- ①越波や堤防決壊による氾濫水により家屋の流失が想定される場所
- ②最上階の床まで浸水すると想定される場所
- ③氾濫水の流れ込む地下室や地下街
- ④ゼロメートル地帯

等では、屋内で待避していても命に危険が及ぶますので、あらかじめ建物からの立ち退き避難が必要です。

知名町の高潮警報基準

警報
2.8m
注意報
1.5m

